

20. うれしいお知らせ

フェイスブック掲載日 2021/10/9

先日、府職員退職者会からうれしいお知らせがありました。

舞鶴の退職者の方を通じて、私が Facebook に掲載している「宇治の火薬」を読まれた方が私との連絡を求めてこられたのです。

その方は舞鶴鎮守府というとても大きな海軍の組織と施設、一世紀にわたる基地のある町と市民の様子を中心に「戦争・空襲」に関する調査・研究を 17 年間に渡りされておられます。主に「市民」の証言を基に、あらゆる方に話を聞きに回り、すでに4冊のノートにまとめておられるとか、その成果はすごいものと思います。ただ、最も話を聞きたい方が、鬼籍に入られることの速さに少々焦りも覚えるとおっしゃってます。

今取り組んでられる仕事は、鎮守府設置以来、今日まで、海軍がどのように用地を確保したのか、特攻をはじめとして、どのようにして一億玉砕を叫ばせたのかを、課題別に証言を織り交ぜ世に問いたいと言っておられます。きっと素晴らしい成果物ができると期待しています。

私は、大勢のみなさんとお話をしたく思っていたので、大変うれしいことだと返事しました。

「宇治の火薬」調査が進むにつけ、宇治の火薬製造のスケールが日本一であることがわかり、その火薬が計り知れない命を奪ったことは絶対に忘れてはならないと思っていること、私の調査の手がかりは、戦跡の現地調査と、宇治市史、旧日本陸軍の資料(国のデジタルアーカイブ資料)から主に情報を得ていること、資料の中には、時々、当時の支配者の考えや動きが鮮明に見える文書とも出会い、まるで宝物を見つけたような興奮をおぼえること、などをお伝えしました。

調査を始めて数ヶ月にも満たない私に対し、このような連絡をいただき、非常にうれしく思います。これからいろんな事で情報交換できればと願っています。

舞鶴市ホームページより

本市の主要構成文化財



舞鶴赤れんがパーク
(舞鶴旧鎮守府倉庫施設)
※常時公開



海上自衛隊舞鶴地方総監部施設
・海軍記念館 (旧海軍機関学校大講堂)
※土・日に一般公開 (要確認)



北吸配水池
(舞鶴旧海軍鎮守府水道施設)
※外観のみ公開



市道北吸・桃山線北吸トンネル
(舞鶴旧海軍鎮守府軍港引込線北吸隧道)
※常時公開